

まち・ひと・しごと創生
島根県総合戦略

総合戦略に基づく
施策の成果

平成28年度の達成状況（概況）

1. しごとづくり と しごとを支える人づくり（産業の振興と雇用の創出）

企業の生産活動など全体として持ち直しの動きが続いている中、ものづくり・IT産業の振興をはじめとした産業振興策は、概ね平成28年度の目標を達成し、雇用の創出につながっている。

雇用者の確保は、地域間の競争が一層激しくなっており、人材の確保や育成・定着に向けた雇用対策がますます重要となっている。

- ・ 県内企業の競争力強化、ソフト系IT産業の振興、企業立地などの取組みは順調で、雇用の創出につながっている。
- ・ 雇用を支えている中小企業の経営力強化や事業承継の取組みは、経営革新計画の承認件数が伸びているなど、着実に進んでいる。
- ・ 観光入込客数については、鳥取県中部地震などの影響により微減となったが、観光消費額等の指標は微増の状況が続いており、これまでの地域資源を活かした誘客効果が現れつつある。山陰インバウンド機構による外国人観光客誘客の取組みは、着実に進んでいる。
- ・ 農林水産業の新規就業者数は、各分野ともに順調に増加しているが、担い手不足は依然として続いており、一層の確保・定着が課題となっている。激しさを増す産地間競争の中で所得の向上を図るため、農業法人化の推進、主食用米の契約的取引拡大、原木生産の拡大、6次産業化の推進、基幹漁業の構造改革に取り組んでいる。
- ・ 大学生インターンシップ件数の増加など若年層の県内企業への就職機会の確保に向けた取組みは進んでいるものの、景気回復に伴う都市部の企業の採用拡大による影響を受け、高校卒業生の県内就職率が低下するなど、人材確保対策の重要性が増している。

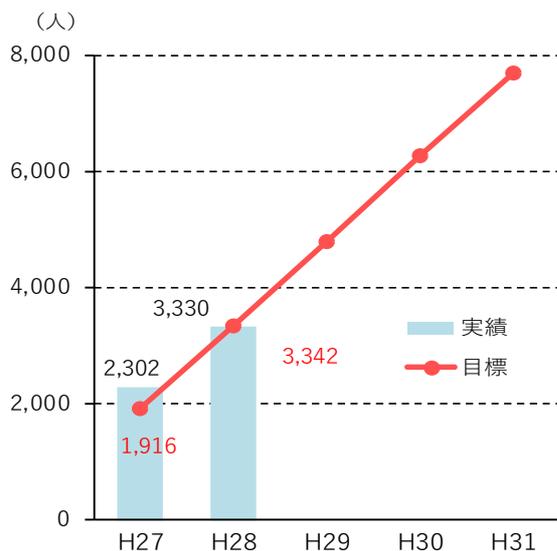
基本目標の達成状況

雇用創出数

(人)

(注)実績は判明分のみ [H27からの累計]

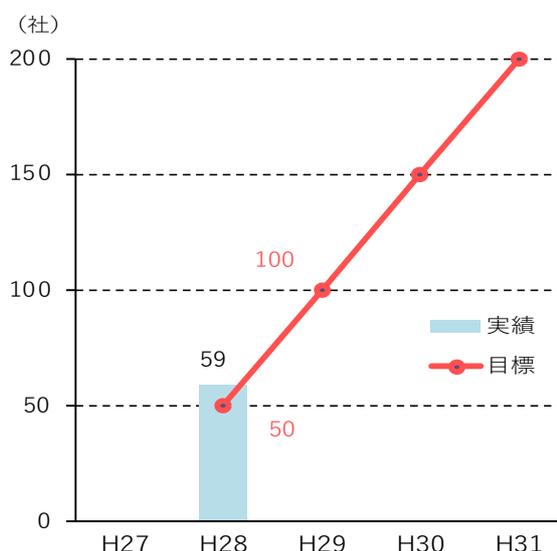
	H27	H28	H29	H30	H31
目標	1,916	3,342	4,798	6,284	7,700
実績	2,302	3,330			



事業承継計画を策定し、後継者を確保した企業数 (社)

[H28からの累計]

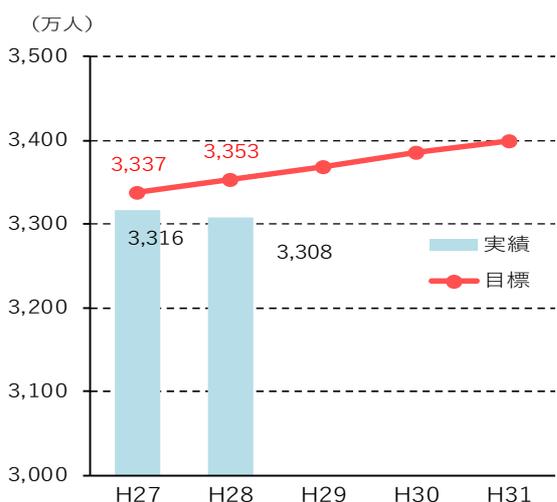
	H27	H28	H29	H30	H31
目標		50	100	150	200
実績		59			



観光入込客数

(万人)

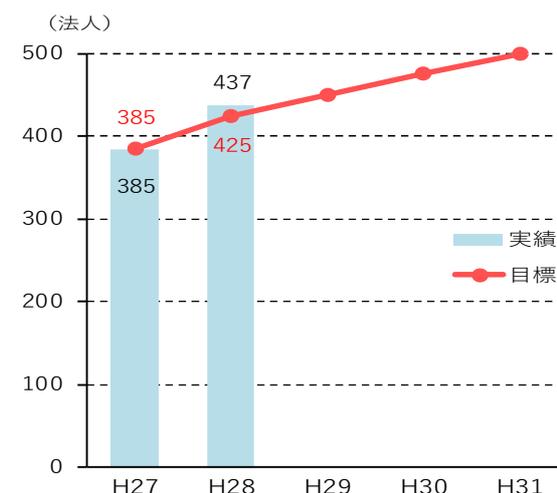
	H27	H28	H29	H30	H31
目標	3,337	3,353	3,369	3,385	3,400
実績	3,316	3,308			



農業法人数

(法人)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	385	425	450	475	500
実績	385	437			



施策レベルの評価状況

施策別評価 (19施策中)

[凡例] A=順調に進んでいる

A評価: 3 B評価: 15 C評価: 1

B=概ね順調に進んでいる C=あまり順調に進んでいない

2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり（結婚・出産・子育て支援の充実）

合計特殊出生率は、全国比較では高い水準を維持しており、県や市町村が行ってきた少子化対策の効果が徐々に現れていると見られる。

島根県は育児中の女性の有業率が高く、子育て支援のニーズに対応していくために、保育所待機児童の解消など、子育て環境の整備を今後一層進める必要がある。

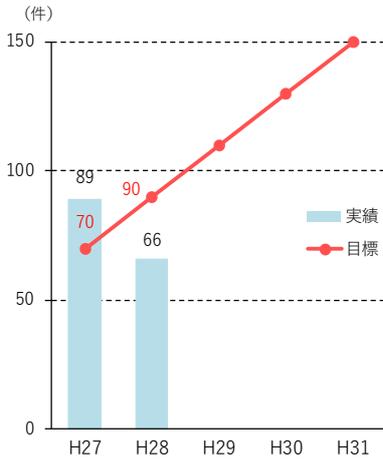
また、育児休業の取得促進やワーク・ライフ・バランスの推進など、仕事と子育てを両立できる環境の整備が引き続き重要である。

- ・ 「しまね縁結びサポートセンター」を通じた結婚数は減少したものの、広域的なマッチングや婚活イベント・セミナーなどの取組みを進めたことにより、お見合い件数や交際件数は大きく増加しており、今後徐々に成婚につながることを期待される。
- ・ 保育所の整備や待機児童ゼロ化事業、保育士確保対策などの取組みにより定員を増やしているが、保育ニーズが高いため、市部を中心に待機児童が引き続き発生している。
- ・ 仕事と子育ての両立支援については、こころカンパニー認定企業数は目標に届かなかったが、実績を上げた企業の表彰制度や、イクメン・イクボスキャンペーンなどの新たな取組みにより、県民や県内企業の理解が進みつつある。
- ・ 妊娠・出産・子育ての総合相談窓口の設置や、産後の母親支援のため全戸訪問を行う市町村は、順調に増加している。

基本目標の達成状況

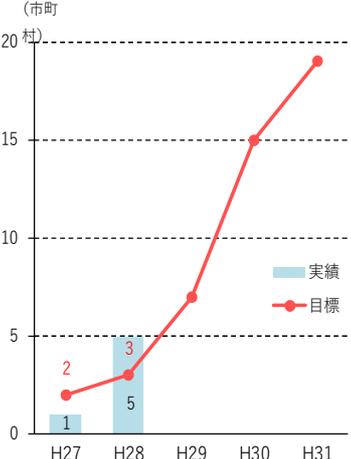
しまね縁結びサポートセンターを通じた結婚数(件)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	70	90	110	130	150
実績	89	66			



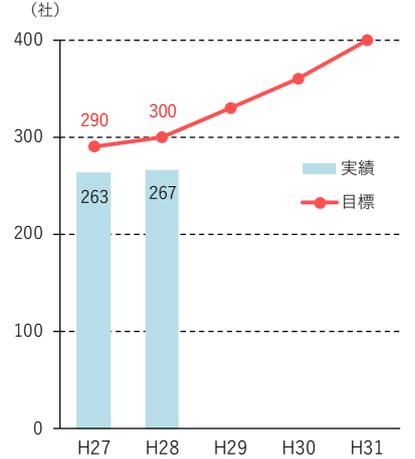
妊娠・出産・子育ての総合相談窓口の設置市町村数(市町村)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	2	3	7	15	19
実績	1	5			



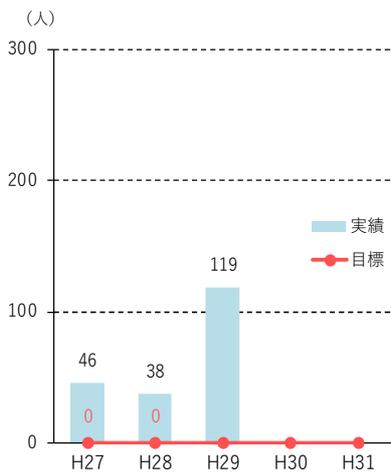
こころカンパニー認定企業数(社)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	290	300	330	360	400
実績	263	267			



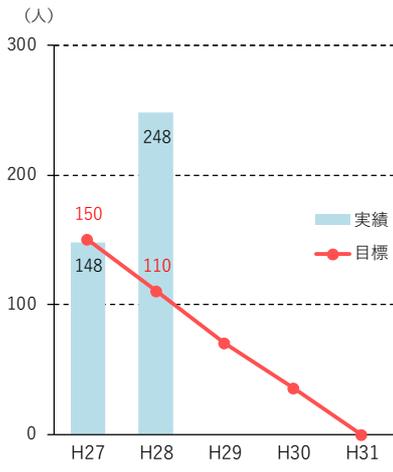
保育所待機児童数(4月1日)(人)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	0	0	0	0	0
実績	46	38	119		



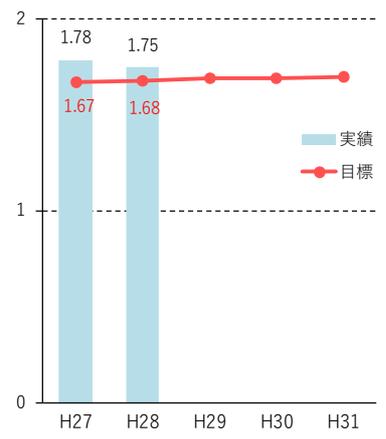
保育所待機児童数(10月1日)(人)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	150	110	70	35	0
実績	148	248			



合計特殊出生率

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	1.67	1.68	1.69	1.69	1.70
実績	1.78	1.75			



施策レベルの評価状況

施策別評価(4施策中)

A評価: - B評価: 4 C評価: -

[凡例] A=順調に進んでいる

B=概ね順調に進んでいる

C=あまり順調に進んでいない

3. しまねに定着、回帰・流入するひとの流れづくり（移住・定住の推進）

社会減については、大幅な改善が見られた。その要因としてはブラジルなどからの移住者の県内就職による影響が大きい。一方、進学・就職による若者の転出が続いており、島根県の社会減の最大の要因となっている。

U I ターン促進の取組みについては、県・市町村・ふるさと島根定住財団・関係団体が連携して積極的に進めてきた成果が着実に現れつつあるが、移住希望者のニーズに応じた対策を講じる必要がある。

こうした取組みに合わせて、県内回帰につながるふるさと教育などの人材育成や、産業振興を通じて創出した雇用の場へのマッチングを進める定住対策も重要となっている。

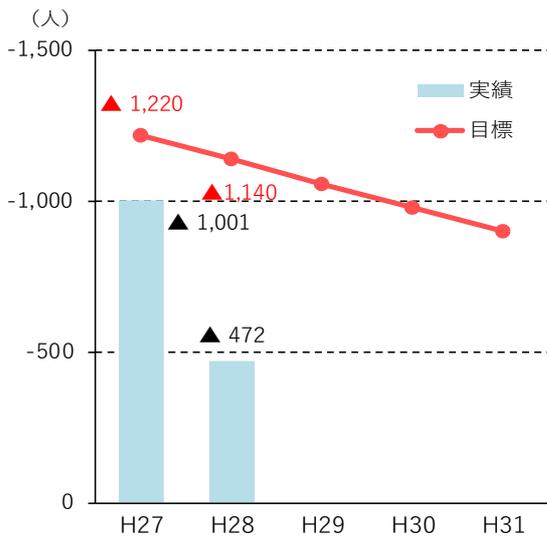
- ・ U I ターン者受入数については、関係機関が一体となって取り組んでいるU I ターン推進施策を強化していることにより、平成28年度も増加傾向で推移している。
- ・ 平成28年度に行った「U I ターン者等の意識調査」の結果では、引き続き住み続けたいとする人の割合が約半数にとどまるなど、U I ターン者の支援のあり方が課題となっている。
- ・ 県立高校、私立高校・専修学校の卒業生の県内就職率は平成27年度より上昇したが、全国的な雇用の増加などにより、目標を下回る状況が続いている。
- ・ 県内高等教育機関から県内企業のインターンシップに参加する学生数は、取組みの強化もあり増加しているが、県内就職率の増加につながっていない。

基本目標の達成状況

社会減 (人)

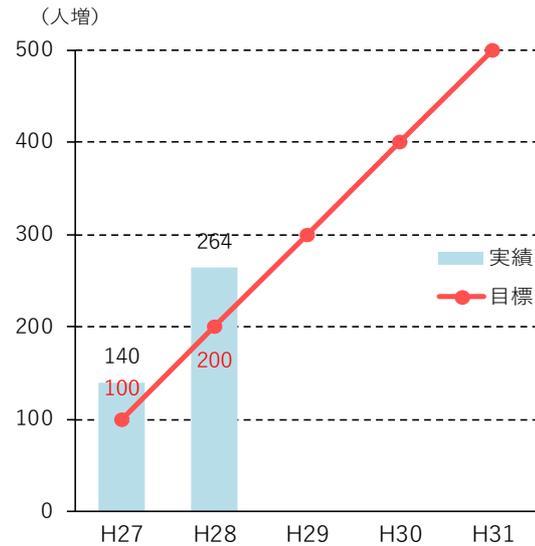
(注)H26の▲1,300人から400人の改善を図る。

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	▲ 1,220	▲ 1,140	▲ 1,060	▲ 980	▲ 900
実績	▲ 1,001	▲ 472			



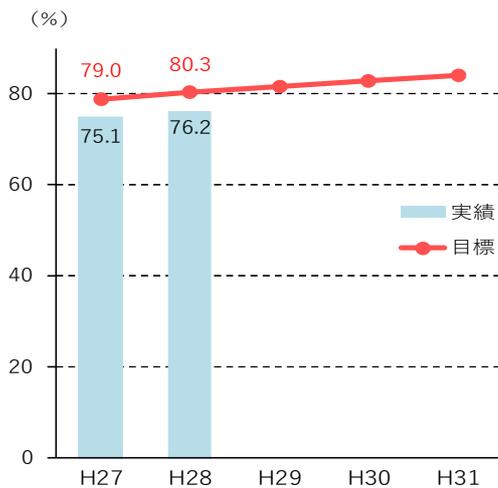
Uターン者受入数 (県外からの転入者のうち5年以上島根に住む予定の者) (人増)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	100	200	300	400	500
実績	140	264			



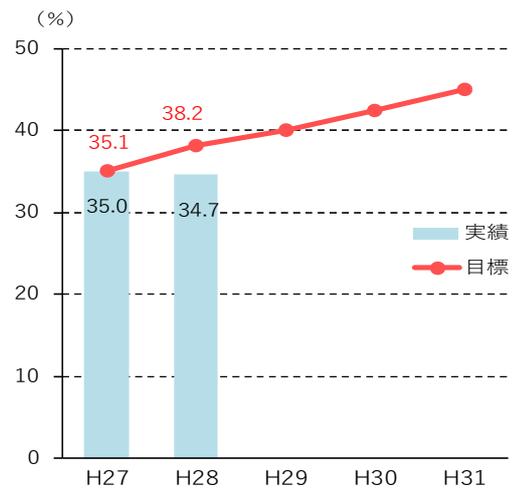
高校卒業生の県内就職率 (%)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	79.0	80.3	81.6	82.9	84.0
実績	75.1	76.2			



県内高等教育機関卒業生の県内就職率 (%)

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	35.1	38.2	40.1	42.5	45
実績	35.0	34.7			



施策レベルの評価状況

施策別評価 (4 施策中)

A評価：－ B評価：4 C評価：－

[凡例] A=順調に進んでいる B=概ね順調に進んでいる C=あまり順調に進んでいない

4. 地域の特性を活かした安心して暮らせるしまねづくり（中山間地域・離島対策）

「小さな拠点づくり」については、市町村と県が連携して支援を行いながら、住民主体の地域課題の解決に向けた機運醸成を進めており、今後地域の実態をより一層把握した上で、実践的な活動につながるよう支援していく必要がある。

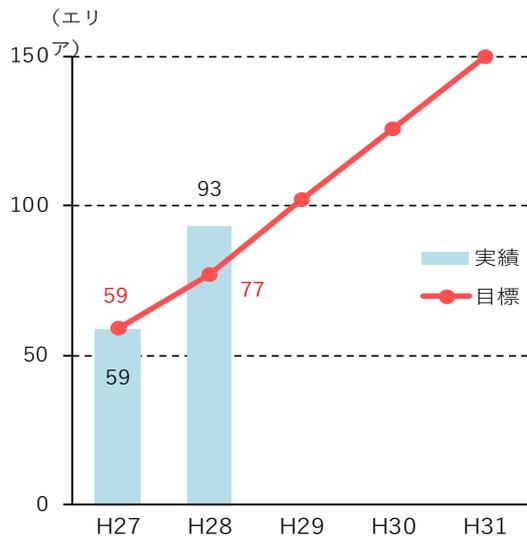
また、健康で安心して暮らせる地域づくりを進めるため、医療機関相互の具体的な機能分担・連携の検討を進めながら地域医療提供体制の確保につなげていくことや、地域の実情に応じた「地域包括ケアシステム」が構築されるよう市町村支援を行うことが必要である。

- ・ 「小さな拠点づくり」に対する理解促進と機運醸成に取り組んだことにより、小さな拠点づくりを進めている公民館エリアは順調に増加している。
- ・ 生活機能の確保については、話し合いを経て、計画づくりから実践活動へと進む地域が増加しつつあるが、そうした活動を将来にわたって持続させていくための組織化や担い手となる人材確保などが課題である。
- ・ 生活交通の確保については、住民のニーズに対応した交通網への再構築が進む地域もあるが、地域の実情に応じた移動手段の確保に向けた取組みを進める地域を増やしていくことが課題である。
- ・ 地域資源を活用したコミュニティービジネスの取組みが進んでいるが、商品力の向上や販路開拓などが課題となっている。
- ・ 県東部の中山間地域においては、県外からの新規立地が実現するなど成果が現れているが、依然として他県との誘致競争は厳しい状況にあり、県西部や離島への立地が進んでいない。
- ・ これまでの医療従事者の確保に向けた取組みにより、県内に定着する医師や訪問看護師数は着実に増加してきているが、依然として地域偏在や診療科偏在の課題がある。
- ・ 介護を要しない高齢者の割合については、要介護認定率が高くなる75歳以上の高齢者人口の割合が高い状況の中で、概ね目標に近い割合を維持している。

基本目標の達成状況

「小さな拠点づくり」を進めている公民館 エリア数（エリア）

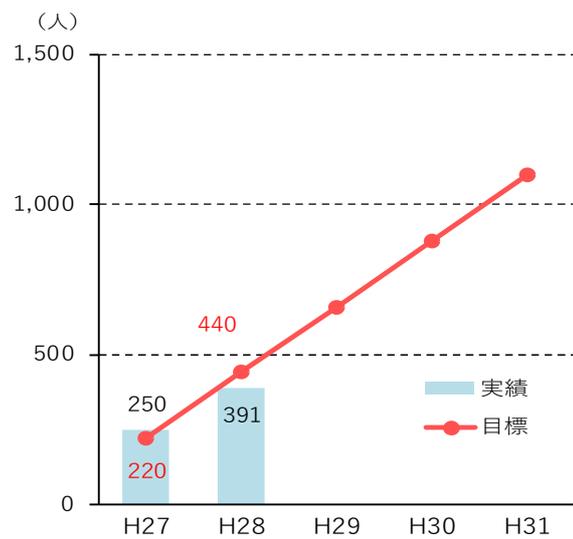
	H27	H28	H29	H30	H31
目標	59	77	102	126	150
実績	59	93			



企業立地による新規雇用者計画数 （中山間地域・離島）（人）

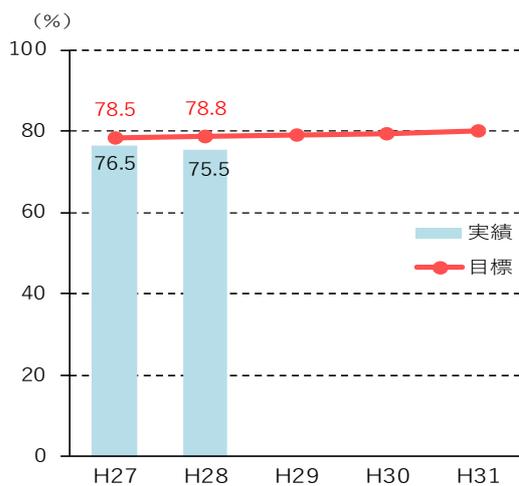
[H27からの累計]

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	220	440	660	880	1,100
実績	250	391			



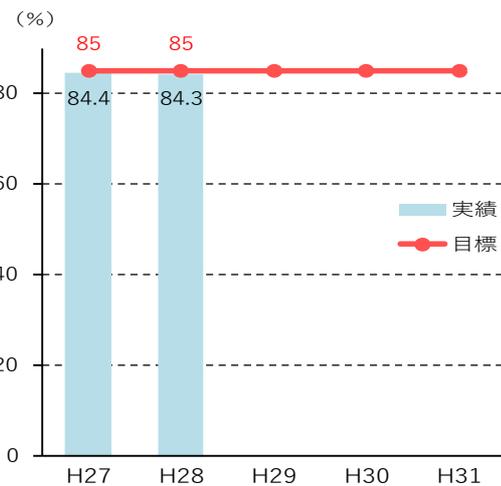
病院・公立診療所の医師の充足率 （％）

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	78.5	78.8	79.0	79.5	80
実績	76.5	75.5			



介護を要しない高齢者の割合 （％）

	H27	H28	H29	H30	H31
目標	85	85	85	85	85
実績	84.4	84.3			



施策レベルの評価状況

施策別評価（8施策中）

A評価：－ B評価：8 C評価：－

〔凡例〕 A＝順調に進んでいる B＝概ね順調に進んでいる C＝あまり順調に進んでいない